

ヤマノススメファンブック

ヤマノススメ

2合目 あおい+ひなた ver

DOJIN R18 成人向け
18歳未満の購入・閲覧禁止

描いた人…椎名悠輝



2019年10月20日



この間まで

ひなたも
呼ばれたんだ

あ...

...うん



ひなたと
山に行く時は



ドキドキと
胸が高鳴って
景色が輝いて
見えていたのに

行こう
あおい

うん

スッ

あの時にガラッと
変わってしまったんだ

ズラッ

すごい
綺麗

コレも
お気に入り……
うわすご

ここも一人で
行ったの？

どこでも
行けちゃうだね
尊敬しちゃう

かえでさんも
一人で色んな所に
行ってるし
私も行けるように
なりたいなあ

あおいには
無理じゃない？

おああ

アッ

そなたきーっ



*一番最初にあおいと登つた山





食堂入口

お来た来た

よ

長沢青穂を つたてて...

ひなたっ
なんでここに？

あおい楓さんに
相談したでしょ

楓さんに教えて
もらったんだ！

楓さんめっ

登山初めて一年も
経ってないんだし

まだ一人で行くのは
危険だからついて
行ってあげるよ

って、まだ
怒ってんの？

ついて
こないでよね


130ん

130ん

130ん

おっせ





自然は大きくて
無力な自分に
不安だったけど

そんな気持ち
が
分けあえる
友達がいる

見るものすべてが
輝いて見えていたが

ヤーッ

グキッ

あの時までは...

イッ!!

イタタタ

なにや
やってんのよー

ちよつと
はしやぎ過ぎ
なのよっ
立てる?

とう

イタッ

つまずいちゃった

グキッ

ちよつと
ヤバイかも

え...

あと帰り道
半分くらいあるよ

グキッ

グキッ

グキッ



万事休すだね...

そんな
天気予報じゃ...

雨...



私ここで
待ってるからさ...
あおい一人で
降りなよ

...
やめてよ
変な冗談



ひなたも
不安なんだ

今度は私が支えて
あげなきゃ

あっ

行こう
ここからなら
避難小屋の方が近い

見えたよひなた





今にして思えば
この小屋に
行かない選択を
していればと
思うけど



おら
友達になんか
言うこと
あるだろっ

ごめんなさい
ごめんなさい

あの時はそれが
一番いい案に
思えてた



可哀想に

友達が怪我しち
まったんだろ？

キミが無茶な
登山計画なんて
たてるから



まさかこんな事が
起こるなんて



他に怪我してる
所はねーか？

おじさん達がこうやって
介抱してやらなかったら
お前等だけじゃ
まともに
応急処置も出来な
かったんじゃないか？



折角やさしく介抱
してやってんの
に
そんな事言ってる
いいのかな？



この足は誰が
処置してやったと
思ってたんだ？



あおい逃げて
おいおい
ご挨拶だな







なんだ？
不服そうだな
ん？

なんならまた足を
弄ってやってもいいな

ヤニヤ

びんびん

サス
サス

それじゃあとんでもない
写真付きで送ってやるか



痛っ



やだあ...



お前等が貧弱な
装備や低い意識で
山登りするから

ふぐっ

こんな事にな
ってるんだろ



ほい
友達はしっかり
山の洗札を
受けてるぞ

お前の責任だ
しっかり近くで見て
目に焼き付けてやんな

まだどこか痛い所
隠してないかな
ほれほれ



痛さって
いうのはな

意識するとより
痛みを感じて
しまうんだよ

だから意識を
別の場所に向
けると

あーあー!!
やあ

あーあー!!
あーあー!!

あーあ

びっ
びっ

まだ意識が足の方
にいてるみたいだな

おいだから初めは...

おじさん
優しいから
こっちに集中
出来る様

ほら

痛い痛い
の痛いでけ

ほぐっ

マホマホ

マホ

ひなたっ!!

スゴ

そんな震えて
どうした?

ビビッ

びっ

あんな友達
ほっといて

逃げたかったら
逃げてもいいんだぜ

そんなの
出来るはずない...

フル

フル

フルフル

おい
体冷え冷え
じゃねーか

山は冷えるからな
とっておきの
いっとくか?

え...

ニハニハ



コレ飲んだら
体温上がんだよ

これお酒っ!!

なに勿体無い事...



してんだよっ!!

っ!!

まだ山
舐めてるなあ
山での水分の一滴は
血の一滴なんだよ



ほら
貴重な水分だぞ
心して飲め

お酒なんて
飲んだこと
無いのに

この後も飲酒を
強要されて



勿体無い

零れてる
零れてる

零れたのも
ちゃんと飲めよ

はっはっは



ほら
カメラ
向いてるよ

ピース

ピース

自分の許容量を
超える量
飲まされた
みたいですよ

あれ？
あおいちゃん意識
飛んじやった？

おせいおせい

大丈夫
大丈夫

これで

一発で
起きるっしょっ

ひぐっ!!!

なにになになにっ!!

ちゅちゅ
ちゅちゅ

おはよう
あおいちゃん

じゅ
じゅ

折角暖めたのに
あおいちゃん
寝ちゃうからさ

睡眠は体温が
下がるから

こんな姿で
寝ちゃ死んじゃまう
と思っさ

暖めちゃっこんの

てかお前等
ホントに山
舐めすぎだろ

私は大量に
お酒を
飲まされて

ひなたは足に
怪我をして

おら反省しろ反省っ

こんな状態で
男達に
抗える訳も無く

女二人で男がいる
山小屋にのこのこ
入ってきて
弱みみせるとか
襲って下さいって
言ってる様な
もんじゃやねーか

ごめんなさい...

ごめんなさい...

あま

アキ

アキ

アキ

アキ

はっ

ユキ

ズ

ズ

ズ

あま

あま

あま

ズ

ズ





何してこんな事になってるんだっけ

だってなあ？

ニヤニヤ

ニヤニヤ

でも俺達が優しいおじさん達でよかった

なんでだよw



ひなたが怪我して

この人達が助けてくれて...

あれ？ 私達？

おお射精るっ 射精るっ!!

あっあっあっあっ!!

今は必死で暖めてくれてるんだっけ？



猟奇殺人犯とか だったら

中出し程度じゃ 済んでないんだぞっ



日が昇ると
男達は
逃げる様に
山小屋から
出て行つた

じゃあまた
連絡するから

あとな
誰か来るかも
しれねえから
掃除しといた
方がいいぞ



ずっと続く
かの様な夜も
気が付いたら
朝になっていた



まあ警察沙汰に
なりたければ
そのままでも
いいけどな

ようやく
私達は
少し休む
事が出来た

そして私は
その日の内に
山道具を
全部捨てた

はずだった…

ガッガッ

あれからひなた
とも連絡を
とっていない

荷物も人間関係も
全て捨てたら

忘れる事が
出来ると思った



この連絡が
くるまでは

う…うそ…





ひなたも呼ばれたんだ

あ...

ひなたの部屋

どれだけ現実逃避しても



うん



ひなたと山に行く時は



うん

行こう
あおい

ドキドキと胸が高鳴って
景色が輝いて見えていたのに

これが現実なんだ

スッ



私達これから



どうなっ ちやうんだろう

あゝあゝ
はあゝ

んぐ
う……っ

あゝあゝ

もっも
しゅっ

今回は三人で
来いって
言いたよね？



バカにしてる？
メールにも
書いてるんだが
読まなかったの？

ごめんなさいっ
ごめんなさいっ



なんで二人で
来たの？

んぐ
はあゝ





こんなの
酷すぎるよ

望みが叶った
じゃねえか
しっかり味やえよ



あれ？
あおいさん
ですかー？

きこーし??



うわっ
すげえ締め
付けてきたw



おら
あけろ

うはw
可哀想



なにお前?
感じてんの?

靴下啜えて
子作りしたいの?
変態かよw

これはきつと
報いだ...

あぁっ

あぁっ

キミも指導が
必要みたいだっ

いやっ

ビクッ
ビクッ

相方が出来て
ないのわかって
たら

キミが率先して
誘わなきゃっ

あぁっ

ギョッ

ギョッ

山ってさういう
もんだから

ごめんなさい

ごめんなさい

ひなたまで
巻き込んで

ギョッ

ギョッ

ギョッ

私が一人で
山登計画なんて
たてなければ...

ダメっ
ダメっ
ダメっ

フキ

それとも

二人で三人分の
指導受けた
かったのかな？

違うっ

そんなの
思っ
ない

フキ
フキ
フキ

初心者の
私が生意の
がってたか

ハッ
ハッ
ハッ

あ...
あおいっ

たっ
ぷり
反省

お？
靴下出てきてる
じゃねえか

まだまだ...

さっ
せに
やるよ

フキ

フキ

フキ



私達はどこかで
山を舐めてたい
のかもしれない

お電話っ…

折り返しで
友達から
きてんじゃね？
ここなちゃん

ズ
ズ
ズ

自分の考えの
甘さや浅はかな
行動の結果が
どのような
事態になるか

あよ黙れ
今無理だっつうの…
新人教育で
忙しいっ

身をもつて
体験したんだ





楓さん
ここなちゃん
知ってる？



山で鍛えた手はね
すごく太いんだよ
足もたくまし
くってね



ほら電話だ
出る



すごい
の

おみ
指でもイける様
になったじゃねーか
すげえー

繋がった
よかったー
さっきの電話
あおいさんですか？

ハハハハ

うん：
ごめんね勝手に
かかっちゃったみたい
もう…だめえ…
ひなたばかり



ひなたさんが
どうしたんです？

うん？ひなた？
隣にいるよ



ちゅっ

二人で登山
したんだけどさ
テンション
あがっちゃって
凄いなだよ

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

今度は
ここなちゃんも
一緒に行きたいな

やー
是非是非
連れてって
くださいって

OKUDUKE

誌名: ヤマノジケン2合目
発行日: 2016.08/14
発行サークル: 要(かなめ)
サークル代表: 椎名悠輝
連絡先: yuuki_kaname@hotmail.com
<http://kannjinnkaname.web.fc2.com>
印刷会社: 関西美術印刷



つて崩れてる
!??

山小屋到達!

ようやく



私たちが
泊まるのは
こっちの
古い方です

爆破...??

新しい方は
爆破されてますので、

あー、

コルシカ島の登山路GR20の
標高1270m地点のLe refuge de
Carrozzu。ここには古い小さな山小屋
があります。

コルシカ島では独立を求める過激派が
フランス本土による開発事業を対象に
爆破テロを繰り返していました。

1998年に訪れたときは新しい山小屋が
建設途中で爆破された跡があり、翌
1999年には訪れたときは、再び工事を
していました。

2016年現在、やはり、
古い山小屋の写真しか案内には
出てきません。


以上、高校時代の登山の思い出を語る
ゲストのすみちゃんでした!



なら
安心かなー

ちゃんと人がいないこ
とを確認して爆破する
ので大丈夫らしいです
よ。

そう
なんだー

An anime-style illustration of two young girls with surprised expressions. The girl on the right has dark hair and purple eyes, wearing a pink top. The girl on the left has grey hair and green eyes, wearing a grey jacket. The background is a dark, starry night sky with a tree trunk visible on the left. The text '2016 summer KANAME PRESENTS' is centered over the girls, with a white horizontal bar below it. Below the bar is a large, stylized white logo consisting of a square with a smaller square inside, and two horizontal bars extending from the right side.

2016 summer
KANAME PRESENTS

